

1. 長野県の現状と課題

【現状】

急峻な地形と脆弱な地質の当県において、急激な都市化や地球温暖化によるゲリラ豪雨など、近年の自然災害の現状を踏まえ、県民が安全で安心して暮らせるように、ハード・ソフト及び維持管理が一体となった総合的な減災対策を行う必要がある。

【課題】

諏訪湖の洪水調節及び天竜川の流水の正常な機能の維持を目的に設置された釜口水門は、昭和63年に運用を開始して以来26年が経過し、設備全般において経年劣化による老朽化がみられ、部品調達困難及び修理不能な旧式の装置を使用している。



釜口水門全景



ゲートの劣化状況



旧式の操作システム

2. 計画の目標

急峻な地形と脆弱な地質の当県において、急激な都市化や地球温暖化によるゲリラ豪雨など、近年の自然災害の現状を踏まえ、県民が安全で安心して暮らせるように、ハード・ソフト及び維持管理が一体となった総合的な減災対策の推進を行う。

3. 事業の内容

【計画の期間】 平成25年度～平成26年度(2年間)

【事業実施主体】 長野県

【計画の成果目標】

計画の成果目標	現況値※1	H26(目標値)
老朽化が激しい河川管理施設の故障発生件数を解消する	15回/年	0回/年

※1 釜口水門の過去5年平均故障発生件数(軽微なものを含む)

【事業の主な内容】

基幹事業 : 特定構造物改築事業(釜口水門)1箇所
 関連事業 : -
 効果促進事業 : -

【箇所数と事業費】

	県	市町村	計
基幹事業	1箇所 1.88億円	-	1箇所 1.88億円
関連事業	-	-	-
効果促進事業	-	-	-
計	1箇所 1.88億円	-	1箇所 1.88億円

4. 事後評価の結果

【目標値の達成状況】

計画の成果目標	H26(目標値)	H26(実績値)
老朽化が激しい河川管理施設の故障発生件数を解消する	0回/年	0回/年

【設備の整備・更新状況】

設備名		H25(実績)	H26(実績)
放流警報設備 ※洪水時に下流域に放流警報をアナウンスする設備	放流警報局(32局)	機器製作	機器更新
	中継局(1局)		
テレメータ観測設備 ※流域の水位及び雨量を観測する設備	水位観測局(6局)		
	雨量観測局(7局)		
	中継局(1局)		

■事業効果の発現状況

- ・長寿命化計画に基づく釜口水門の放流警報設備及びテレメータ観測設備の整備・更新を完了した結果、次回更新までの今後20年間の安定的な運用が図られることとなり、諏訪湖周辺及び下流(天竜川)の水害防止および流水の正常な機能の維持に寄与したものと評価できる。
- ・放流警報設備の操作システムの更新により、操作性が向上したことで操作ミス等の解消に寄与し、より適切な水門管理が行えるようになった。
- ・テレメータ観測設備の整備により、関係機関や住民に対し、正確な水位・雨量情報の提供が可能となり、洪水時における避難行動の支援に寄与したものと評価できる。

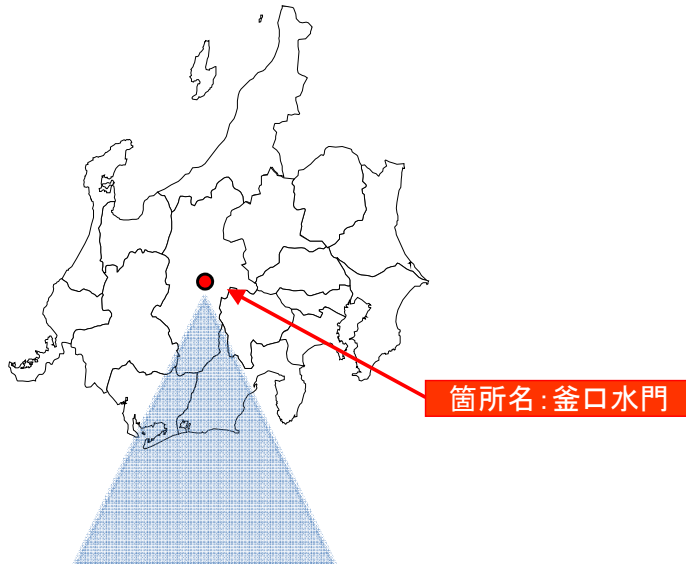
5. 評価と今後の方針

- ・長寿命計画に基づいた施設の整備、更新により、放流警報設備及びテレメータ観測設備について、治水機能に支障のある重故障の発生はなかった。
- ・引き続き、長寿命化計画に沿った整備、更新を継続し、施設の機能維持と延命化を図る。

整備効果事例

事例① (特定構造物改築事業) 釜口水門

■位置図



■整備効果

放流警報設備の整備



操作システムの更新



計画的な設備の整備、更新により、施設の機能維持と延命化が図られ、洪水時の住民の安全・安心を確保